

2024年度 第30回「富士市民大学前期ミニカレッジ」

主催：富士市教育委員会

趣 旨

「富士市民大学前期ミニカレッジ」は、各専門分野に精通している教授陣や地域の有識者と連携を図り、高度で有益な学習の機会を提供します。

今回も様々な分野から、全6科目の講座をご用意しました。どうぞお気軽にご参加ください。

講 座 内 容

※それぞれの講座についての詳細は40～42ページをご覧ください。

No.	科 目	期 間	回 数	定 員	会 場
		時 間		受 講 料	
		曜 日			
1	観光の今 ～地域活性化・情報活用・まちづくり～	5月20日～6月24日	5回	40人	富士市教育プラザ
		19:00～20:30		2,500円	
		月曜日			
2	表現力アップ! 読み聞かせ・話し方講座	5月21日～7月16日	9回	20人	
		19:00～20:30		3,000円	
		火曜日			
3	環境について「今」私たちが 知るべきこと（実地研修あり）	5月24日～6月25日	6回	40人	
		19:00～20:30 第4回のみ9:30～17:00		2,500円※	
		火・金曜日 第4回のみ6/15(土曜日)			
4	市民歴史講座 「紫式部が生きた時代の文学と社会」	6月5日～7月3日	5回	80人	
		19:00～20:30		2,000円	
		水曜日			
5	健康講座 「カラダのDIY ～健康的なカラダづくりを目指して～」	5月23日～6月20日	4回	40人	
		19:00～20:30		2,000円	
		木曜日			
6	色が魅せる 音が創り出す 思いが伝わる ～デザインが持つ効果と工夫～	7月2日～7月25日	5回	40人	
		19:00～20:30		2,500円	
		火・木曜日			

※実地研修に参加される方は、別途負担金（バス代1,500円程度）がかかります。

申し込み

★定員を超えた講座については、抽選にて受講生を決定します。受講料は、抽選後の納入となります。

4月9日(火)に抽選を行い、申込者全員に郵送にて受講可否の連絡をします。

★すべての講座において、ペア申込が可能です。申込時に1人申込またはペア申込どちらか選択してお申し込みください。(重複申込不可)

対 象 富士市・富士宮市に在住、在勤、在学の15歳以上の方（中学生は除きます。）

受付期間 2024年3月25日(月)～4月7日(日)

申し込み方法 ①インターネットから申し込み (期間中 24 時間受付)

●スマートフォンからの申し込み

- (1) 右の二次元コードをスマートフォンの**バーコードリーダー機能**で読み取り、表示されたURL (<https://logoform.jp/form/5KXT/49430>) にアクセスします。
- (2) 申し込み入力フォームに必要事項を入力し、最後に「申し込む」ボタンを押します。
- (3) 入力されたメールアドレス宛に受付確認メールが届いたら申込完了です。
※一部対応していない機種がございます。ご了承ください。



●パソコンからの申し込み

- (1) 検索ソフトに『富士市民大学』というキーワードで検索します。
- (2) ページ内『2024年度【第30回富士市民大学前期ミニカレッジ】受講申込』をクリックします。
- (3) 申し込みフォームに必要事項を入力し、最後に「申し込む」ボタンを押します。
- (4) 入力されたメールアドレス宛に受付確認メールが届いたら申込完了です。
※お使いのパソコンの動作環境によっては、利用できない場合があります。

●電子申請をする場合の注意点

- (1) お申込みいただいた方の受信拒否設定により、受付確認メールが届かない場合があります。ご自身で設定していない場合でも、初期設定で受信拒否になる場合もございますので、確実に、次のドメインを受信できるように設定の変更をお願いします。
『logoform.jp』 『div.city.fuji.shizuoka.jp』
- (2) 複数の講座に申し込む場合は、先に選択した講座の申し込みが完了した後、再度、別の講座を選択してお申し込みください。

申し込み方法 ②窓口へ直接来て申し込み

以下の受付場所にある所定の申込用紙に記入し、申し込みください。

9:00～21:00	富士市教育プラザ1階社会教育課 (0545-30-6820) (日曜日は除く)
9:00～21:00	各地区まちづくりセンター (改修工事のため、富士見台まちづくりセンターは4月1日から受付開始)
9:00～17:00	富士山かぐや姫ミュージアム (0545-21-3380) (月曜日は除く)

● No.1 観光の今～地域活性化・情報活用・まちづくり～

新型コロナウイルスに伴う規制が緩和され、日本各地の観光地には多くの観光客が訪れています。観光は今や日本の産業の一角を担うほどになっていますが、オーバーツーリズムなど、大きな産業になったからこそその負の面があることも否めません。

本講座では、観光が地域やまちづくりに与える影響、データサイエンスがどのように活用されているのかについて学びます。観光と地域、情報活用の今について、考えてみましょう。

①	5月20日 (月曜日)	観光の効果とは？ 観光のアウトラインを知り、どんな効果があるのかを考えます。	静岡県立大学 経営情報学部 教授 大久保 あかね
②	5月27日 (月曜日)	観光の身近なつかい方 観光の経済的・社会的効果を皆さんの身近な事例で考えます。	
③	6月10日 (月曜日)	観光分野における DX デジタル技術による観光への効果を、研究成果を踏まえ紹介します。	静岡県立大学 経営情報学部 教授 渡邊 貴之
④	6月17日 (月曜日)	観光とまちー事例から考える① 地域資源の観光活用 地域資源を観光に活用している事例から、観光とまちを考えます。	静岡県立大学 経営情報学部 教授 内海 佐和子
⑤	6月24日 (月曜日)	観光とまちー事例から考える② 世界遺産と観光公害 世界遺産の事例をとおり、観光公害がもたらす影響を見ていきます。	

● No.2 表現力アップ！読み聞かせ・話し方講座 ～プロから学ぶ「表現の楽しさ」「言葉の大切さ」「日本語の美しさ」～

子ども達への読み聞かせ、会議や会合でのプレゼンテーション、人とのコミュニケーションなどあらゆる場面で求められる「表現力」。自分の考えや思いを言葉にのせて伝える「表現力」を身につけましょう。

①	5月21日 (火曜日)	「声を出す」ということ 普段なにげなく使っている「声」をもっと知りましょう。	⑥	6月25日 (火曜日)	「言葉の意味」ということ ひとつひとつの言葉の意味を考えましょう。
②	5月28日 (火曜日)	「伝える」ということ 「伝わらない」のではなく「伝えていない」ということはありませんか？	⑦	7月2日 (火曜日)	「しっかり伝える」ということ 「伝える」ことの真の難しさを考えましょう。
③	6月4日 (火曜日)	「読む」ということ 文字を「読む」のではなく文を「読む」のです。	⑧	7月9日 (火曜日)	「語る」ということ 自分の考え・思いを伝えるには…
④	6月11日 (火曜日)	「表現する」ということ① 表現する方法論を知りましょう。	⑨	7月16日 (火曜日)	「響く」ということ 聞く人の耳に届き、心に響く表現を目指しましょう。
⑤	6月18日 (火曜日)	「表現する」ということ② オーバーに言い表すことが「表現」ではありません。	担当講師：フリーアナウンサー・新朗読家 杉山 直		

※定員を超える申込があった場合は、初めて受講される方を優先します。

No.3 環境について「今」私たちが知るべきこと（実地研修あり）

異常気象・地球温暖化・自然災害など、日々地球では目まぐるしい変化が生じています。その中で、環境とは何か、について私たちが未だに知らない多くの事実があります。今ある環境を守るために私たちがまずすべきこと、それは「知ること」です。

本講座では、「環境」に関するエネルギー・食・農・森林について考えていきます。第1回は、環境の概論とカーボンニュートラルの基礎について、第2回はカーボンニュートラルの応用について学びます。また、第4回の実地研修では、市内の企業で環境配慮に向けた取り組みについて学びを深めます。環境の現状を知り、いま私たちにできることを見つけていきましょう。

①	5月24日 (金曜日)	カーボンニュートラルの基礎 ——グローバルな環境問題の歴史的展開と国際社会の対応	静岡大学 グローバル共創科学部 教授 板倉 美奈子
②	5月31日 (金曜日)	気候危機とカーボンニュートラル	静岡大学 地域創造学環 教授(学環長) 水谷 洋一
③	6月11日 (火曜日)	環境とエネルギーの関係性について ～環境負荷の少ないエネルギーの可能性～	静岡大学 教育学部 准教授 郡司 賀透
④	6月15日 (土曜日)	実地研修 〈富士市×環境〉 市内の企業での工場見学等を通じ、製紙業やCNF等の分野から環境の学びを深めていきます。	
⑤	6月18日 (火曜日)	温泉メタンの有効利用と温室効果ガス排出削減	静岡大学 理学部 教授 木村 浩之
⑥	6月25日 (火曜日)	環境資源をサステナブルな地域づくりに活かすために ——森林資源の保全と活用、食と農を中心として	静岡大学 グローバル共創科学部 教授 板倉 美奈子

No.4 市民歴史講座 「紫式部が生きた時代の文学と社会」

きらびやかな平安貴族の世界の中で、最古の女性文学といわれる『源氏物語』を描いた紫式部。本講座では、「紫式部が生きた時代の文学と社会」をテーマに、紫式部や源氏物語の魅力、物語に描かれている平安時代の社会や文化について学んでいきます。

また、その時代の富士（駿河）地域にも目を向け、竹取物語と富士山南麓に伝わる赫夜姫（かぐやひめ）の物語や、武士が台頭する時代の駿河国の地域社会についても探っていきます。

①	6月5日 (水曜日)	平安時代の文学と紫式部の生涯	国文学研究資料館 准教授 中西 智子
②	6月12日 (水曜日)	絵巻に見る『源氏物語』の魅力	静岡県立大学 国際関係学部 准教授 竹部 歩美
③	6月19日 (水曜日)	紫式部が生きた時代の社会と政治	神奈川大学 日本常民文化研究所 特別研究員 繁田 信一
④	6月26日 (水曜日)	富士山南麓の赫夜姫（かぐやひめ）の物語 ～富士山の縁起（えんぎ）を知る～	静岡県富士山世界遺産センター 学芸課 教授 大高 康正
⑤	7月3日 (水曜日)	平安・鎌倉時代の文学に描かれた駿河国の地域社会	静岡大学 人文社会科学部 准教授 貴田 潔

No.5 健康講座「カラダのDIY～健康的なカラダづくりを目指して～」

日常生活で誰もが抱えているからだの痛みや悩みは、いったいどのような原因から来ているのでしょうか。私たちのからだの中で起きていることは、自身のことであっても分からないことが多くあります。

本講座では、東洋医学・食事・睡眠・体の構造など、様々な視点から、健康面について学んでいきます。この講座を通して、自身のからだについて学び、少しでも改善・維持できるよう健康的なカラダ作りについて教養を深めましょう。

①	5月23日 (木曜日)	身近にある東洋医学 ～実践、ツボ押し養生法～ 東洋医学と健康の関連や経穴（ツボ）を使って体調を整える方法について	常葉大学 健康プロデュース学部 健康鍼灸学科 准教授 藤田 格
②	5月30日 (木曜日)	毎日を健やかに過ごすための食に関する考え方 栄養バランスを考えるために使用できるツール等を紹介します。	常葉大学 健康プロデュース学部 健康栄養学科 教授 野末 みほ
③	6月13日 (木曜日)	睡眠から考える健康 ～快眠で毎日元気に過ごしましょう！～ 知れば知るほど面白い睡眠のあれこれや良質な睡眠の実践法について	元 常葉大学 健康科学部 静岡理学療法学科 教授 青田 安史
④	6月20日 (木曜日)	最新！「疲労」と「痛み」のサイエンス 疲労と痛みについて科学的に理解し予防法を学びましょう。	常葉大学 健康プロデュース学部 健康柔道整復学科 准教授 安井 正佐也

No.6 色が魅せる 音が創り出す 思いが伝わる ～デザインが持つ効果と工夫～

普段目にする看板・標識や購入したパッケージ、お気に入りの音楽や素敵な染物など、私たちの日常には様々な「デザイン」に囲まれています。何気ない1つ1つのデザインの意外な工夫や、応用して社会的に役立つものも多く存在しています。

本講座では、「デザイン」をテーマに5つの分野からその隠された魅力と効果について学びます。デザインについて、時代や分野を超えた視点から掘り下げてみましょう。

①	7月2日 (火曜日)	いのちと健康を守る視覚デザイン 視覚デザインと私たちの生活の影響について学びましょう。	静岡文化芸術大学 デザイン学部 准教授 小川 直茂
②	7月4日 (木曜日)	音の広がり 動きの広がり 映像が魅せる芸術 音が創り出す効果について、比較を交えて学びます。	静岡文化芸術大学 デザイン学部 准教授 百束 朋浩
③	7月11日 (木曜日)	思いやりをデザインに ～ユニバーサルデザインと私たちの生活～ デザインの社会的効果についてユニバーサルデザインをもとに学びます	静岡文化芸術大学 デザイン学部 教授 小浜 朋子
④	7月18日 (木曜日)	時代を編む、染める、織る ～染物文化と布デザインの魅力～ 染物・織物文化について、時代をたどりながら魅力について迫ります。	静岡文化芸術大学 デザイン学部 准教授 荒川 朋子
⑤	7月25日 (木曜日)	「伝えたい」パッケージデザインに隠された秘密と知恵 実は色々な効果や仕掛けを、普段目にするデザインを通して学びます。	静岡文化芸術大学 デザイン学部 特任教授 佐井 国夫

※日程はウェブサイトにて随時更新いたします。

※講座の最新情報につきましては、市ウェブサイトにて随時更新いたしますので、
右の二次元コードよりご確認ください。

※講師・各回テーマ・順番・日程については、都合により変更となる場合があります。

※職名は2024年1月現在のものです。

